

新橋地区コミュニティ協議会だより NO.4

令和5年2月1日発行
新橋地区コミュニティ協議会事務局

会長挨拶



会長 井上 豊

校区の皆様には、健やかに過ごしのことと存じます。

さて、新橋コミュニティ協議会では、昨年度はコロナの急激な流行のために、一部の事業しか計画通りに実施することができませんでした。現在もコロナの影響が収まっていない状況ではありますが、今年度は昨年度以上に事業が計画通りに実施できました。次に今年度実施した主な事業内容等を紹介いたしますので、ご参照ください。

今後も、協議会では、より魅力ある住みよい新橋地区となるように努めてまいります。

役員会等で十分に協議して活動していきますので、地域の皆様には一層のご協力をお願いします。

◎令和4年度の主な活動内容

六月燈

去る7月23日、令和4年度六月燈が道の駅松山(おじゃんせ広場)にて開催されました。六月燈は、新橋地区の夏の風物詩として長年にわたり実施され、住民の方々に楽しまれてきましたが、コロナ禍のために令和2年度から中止されていきました。せっかくの伝統行事を3年連続で中止するのはしのびないということで、コロナ禍がまだ収束していないこともあり御輿の巡行・パレード、出店は実施しない縮小した内容で実施されることとなりました。当日は、おじゃんせ広場に新設したステージのこけら落としとして「ちり面太鼓」の演舞、花火大会、保育園・小学生が製作した普通灯籠、各分団が製作した一見灯籠の展示等が行われ、縮小した内容での実施ではありましたが、多くの方々が訪れ、盛大に実施することができ、また伝統の祭りを再開、繋ぐことができました。



150周年記念松山小学校合同運動会

去る9月25日(日)、第31回150周年記念松山小学校合同運動会が開催されました。コロナ禍の状況で合同運動会が中止されるところが多い中、松山小学校は設立150周年という記念すべき運動会という意義ある折角の機会ということもあり、お祝いの気持ちを込めて地域との合同運動会が実施の運びとなりました。コミュニティ協議会では事前準備の愛校作業や当日の緑門制作等を行い、運動会の開催に協力いたしました。当日は午前中のプログラムに「150周年記念風船とぼし」など5つの地域との合同プログラムが組まれて実施され、さわやかな秋晴れの中、地域の方々と小学生が合同となって、和気あいあいと競技・演技を楽しんでいました。



おじゃんせ新橋 音楽フェス

去る10月16日(日)、おじゃんせ広場に新設した屋外ステージで、初のイベントである「おじゃんせ新橋 音楽フェス」が実施されました。コロナ禍で社会全体が疲弊している中、音楽を通して地域に元気と活力を呼び戻し、誰もが笑顔で楽しめるイベントを目的に実施され、当日は13団体による、中国民謡からフォークソング、洋楽、マーチングなど様々なジャンルの音楽等が演奏され、1000人を越える観客が来場し、それぞれの一生懸命の演奏・演舞に会場はたいへん盛り上がっていました。今後も、音楽フェスはもとより、地域活性化のために新屋外ステージを有効に活用していくことにしています。



先進地視察研修

新橋地区コミュニティ協議会の地域活動の強化と自主財源の確保を目的に、11月29日(火)～30日(水)の2日間にかけて、大分県臼杵市の「南野津地区振興協議会」、「寺小屋ん会」の2カ所の先進地視察研修を実施しました。両組織とも新橋と同様、公民館を母体に発展した協議会で、地域振興活動、収益活動等を積極的に行っております。当日は役員を中心に7名の参加があり、両組織との研修・意見交換を積極的に行い、多くの情報を得ることができました。

本研修を通して新橋地区コミュニティ協議会の今後の方向性を考えるうえで、たいへん参考になる有意義な研修を実施することができました。



鬼火焚き

1月14日(土)午後5時30分から、恒例の鬼火焚きを実施いたしました。鬼火焚きとは、正月の七日に、大やぐらを焼いて、正月飾りについてきた悪霊(鬼)を追い払う、一年間の無病息災、家内安全などを祈願する鹿児島県の伝統行事です。

午後5時30分から神事が取り行われ、神事祈祷や還暦代表、小学5年生代表を含めた方々の玉串奉納が行われました。

午後6時から、松山小学校の小学生・実行委員を中心となって火入れが開始され、積み上げられた大やぐらに火が放たれました。観客からは、一年間の無事を祈願するとともに歓声が上がっていました。この火の勢いで昨年からの悪霊(鬼)も十分に追い出され、無病息災、家内安全等幸福な1年が訪れることと思います。

皆様のご多幸をお祈りいたします。

